大分高専野球部　監督紹介および挨拶

名前：　石川秀大

生年月日：1986年9月9日

経歴：　島根県立浜田高等学校出身（理数科）

　　　　　**高校3年夏に甲子園出場（ベスト16），ポジションはサード**

　　　　　九州工業大学で大学野球を経験し，博士号（工学）を取得

　　　　　2016年4月に大分高専情報工学科に助教として着任

　　　　　**2018年4月より野球部監督に就任**

挨拶：

大分高専野球部監督の石川秀大です．

2018年春より，前任の堤から監督を引き継ぎました．皆様，どうぞよろしくお願いいたします．

　高専という特殊な環境の中で，野球を通して「優秀なエンジニア」になるための基礎を育み，卒業後には日本の工学を牽引する人材を輩出することを，本野球部の大目的としています．

その中で，私がテーマとして掲げる「和気藹々」の信念に基づき，高校野球の本質を突き詰めることで，高専初の甲子園出場および甲子園1勝を達成するために，日々厳しい練習に励んでいます．

　本野球部の特徴は，各学年間だけでなく学生と指導者の距離も近く，みんなでワイワイかつ真摯に野球に取り組むところです．一見，相容れない関係に思えますが，自由を尊重した本校の校風と学生の生真面目さが，それを可能にしていると思います．高専では，強豪校のように学生を集めることができません．入学してきた学生を育成し，強豪校とも対等に闘える，面白いチーム作りを目指しています．私の見解では，高専生は，普通校の学生と比べて成長速度が速く，とても高いポテンシャルを持っています．一生懸命練習すれば，甲子園に行くことは夢ではありません．勉強と部活の両立は簡単ではありませんが，やるべきことをやれば，必ず成功を掴むことができます．

学業，部活動，プライベートなどすべてが充実した時を，学生と一緒に刻んでいきたいと思います．

今後とも応援よろしくお願いいたします．

2019/1/28

大分高専野球部監督　石川秀大

　　　　　　